

SCHOOL! YELL!! エール

Vol.8

学校生活をよりよいものに

輝北中学校 生徒会



輝北中の生徒会は、会長・副会長が属する本部と文化・体育・学習・生活環境の4つの専門部で構成されています。主にレクリエーションの企画や募金活動など、生徒が学校生活を楽しく過ごせるように頑張っています。また、7月31日に行われた「鹿屋市子どもサミット」では、市内小中学校の代表として実行委員長を務め、いじめ問題を解決するために「いじめゼロ宣言」を採択しました。11月で生徒会の役員は交代になりますが、今後も輝北中の生徒が充実した学校生活を送れるよう後輩たちにバトンタッチしていきます。



▲子どもサミットでの様子



鹿屋市子どもサミット
実行委員長
やま お なつき
山尾 南月 さん(3年生)



生徒会長
まるやま あい
丸山 愛 さん(3年生)

公民

地理

歴史

文化

文化財

まちづくり

人物

その他

かのや風土記の中身をさらに深掘り

鹿屋街道

第8路 輝北にそびえる 西原城跡

輝北総合支所前にある国道504号線と県道72号線の交差点の北側に城跡への道があり、これに従い坂道を登っていくと「西原城跡(城山公園)」に辿り着きます。

肝付氏の一族である図師家が二十代・434年間も居城した地であり、高山の本城(肝付氏の居城)と連絡をとり、島津勢や外敵の襲来を監視し、万一の時は狼煙をあげて高山の本城へ知らせる肝付北辺の監視城としての役割を果たしていました。図師家は、養和元年(一一八一年)から元和元年(一一六五年)まで百引を支配しましたが、後に島津氏に帰服しました。築城者・年代は不明であり、図師氏の先祖か肝付氏の武将が築城したものと考えられています。

この百引の戦いでは、薩摩軍が負傷者10人だったのに対し、官軍は95人の死傷者を出しました。このように官軍が完膚なきまでに大敗したのは、ほとんど例がなく、連戦連勝でござりが生じ、油断していたことが原因とも言われています。



▲現在の西原城跡地の様子。



▲公園内には、図師家の墓から移転安置された古石塔群があります。

明治10年に勃発した西南戦争の際は、明治政府軍(官軍)がここに陣地を敷き、西郷隆盛を総大将とする西郷軍(薩摩軍)と激闘を交えました。本営を高須に置き高須に向かった官軍と、これを阻止しようとした鹿屋・高須・百引の諸郷土からなる薩摩軍が高須で遭遇。戦闘が開始されましたが、圧倒的な戦力を誇る官軍を前に薩摩軍は壊滅し、官軍が百引まで進軍しました。そこで薩摩軍は、西原城に陣地を敷いていた官軍を襲撃。武器・弾薬ともに不足し、刀と小銃だけの戦いでしたが、四方八方からの奇襲に、土地勘のない官軍は狼狽、大敗を喫し、敗走しました。